

こどもまんなか
こども家庭庁

* こども家庭庁は令和5年4月1日の設立です。

わかもの いばしょ
こども・若者の居場所づくりにかんする

わかもの む ほうこくしょ
こども・若者向け報告書

れいわ ねん がつ
令和5年3月



はじめに

こども・若者わかもののみなさんが、
自分じぶんらしく幸しあわせにおおすごせる多くの居場所いばしょを
持つもことができるために、
こども・若者わかものの居場所いばしょづくりにかかわる
調査ちょうさをしました。

今いま、居場所いばしょとなっているところは、
どんな場ばなのか
どんなすかたごし方がされているのか
などを調しらべることで、
こども・若者わかものの居場所いばしょづくりにおいて
大切たいせつにしたいことをまとめました。

わかもの いばしょ
こども・若者の居場所づくりにおいて

たいせつ してん
大切にしたい視点

だいじ い かん
“いちばん大事にしたいことはあなたがそこに居たいと感じるか”



居たい

- 居ることの意味を問われないこと
- しんらいでできる人、味方になってくれる人がいること
- すごし方をえらべること
- ありのまま、素のままです
- だれかとつながれること
- 気の合う人がいること
- 安心・安全な場であること
- くつろげるかんきょうが整っていること
- 居ただけ居られること
- 助けてほしいときに、助けてくれる人がいること
- だれかとコミュニケーションできること
- 話をきいてくれること
- べつの目的をもった人がいても、同じ空間にいられること
- 一人で居ても気にならないこと

行きたい

- 自分を受け入れてくれるだれかがいること
- 身近にあること
- 気軽に行ける、一人でも行けること
- お金がかからずに行けること
- だれでも行けること
- 行くきっかけがあること
- 自分と同じきょうぐうや立場の人がいること
- いつでも行けること

やってみたい

- いろんな人と出会えること
- すきなこと、やりたいことができること
- 自分の意見を言える、きいてもらえること
- いっしょに学ぶ人、学びをサポートしてくれる人がいること
- いろんな機会があること
- 未来や進路を考えるきっかけがあること
- あこがれをいただける人がいること
- 新しいことを学べること
- 自分のやくわりがあること

これからどうするの？

いばしょ
よりよい居場所づくりをすすめるために…

かだい 課題

わかもの こえ
子ども・若者の声を
ききながら、居場所をつくり、
かつどう
活動をつづけていくこと

いばしょ
すべての居場所を
あんしん あんぜん
安心・安全なところに
すること

ちいき いばしょ
地域に、いろんな居場所を
ふやすこと

わかもの じぶん
子ども・若者が、自分で
じぶん あ いばしょ
自分に合った居場所を
みちか み
身近に見つけられること

いばしょ
居場所が
なが
長くありつづけること

など

たいおう ほうこうせい 対応の方向性

わかもの *
子ども・若者のけんりを
りかいし、子ども・若者と
わかもの
ともに居場所をつくること

いばしょ ひと
居場所づくりにかかわる人
たちの、はたらくかんきょう
をよくすること

ちいき いばしょ
地域にいろんな居場所を
つくり、子ども・若者を
わかもの
居場所につなげられる人
いばしょ ひと
をふやすこと

いばしょ
居場所づくりにかかわる
ひと
人たちをささえる人
ひと
たちをたすけること

ちいき ひと
地域のひとだけでなく、
くに けん しちょうそん
国や県、市町村も
いばしょ
いっしょに居場所づくり
をすすめていくこと

など

*子ども・若者のけんりとは、大事に育てられることや、意見を言えることなど、子ども・若者が幸せに生きるためのけんりのこと。

かていちょう
こども家庭庁では、
こえ
ひきつづきみなさんの声をききながら、
わかもの じぶん しかい しゃかい む すす
こども・若者が自分らしく幸せにすごせる
社会に向けて、
いばしょ
居場所づくりを進めていきます。

